

手関節尺側痛に対する 診断の文献研究

置賜地区

丹 学

目次

1. はじめに
2. 目的
3. T F C C 損傷の診断テスト
4. 誤診パターン
5. 3 と 4 よりの結果
6. 考察
7. まとめ

はじめに：手関節尺側の疼痛の分類

背側の疼痛疾患

- ①尺側手根伸筋腱（靭）炎
- ②亜脱臼
- ③DRUJ障害
- ④TFCC損傷（頻度高い）
- ⑤尺骨突き上げ症候群
- ⑥月状三角骨解離
- ⑦有頭骨・有鉤骨の障害
- ⑧大4・5中手骨の関節症など


掌側の疼痛疾患

- ①尺側手根屈筋腱炎
- ②尺骨頭の掌側病変
- ③豆状三角骨関節症
- ④Guyon管症候群


主な疾患 = TFCC損傷と尺骨突き上げ症候群

手関節尺側部の疼痛疾患に対して

多彩な損傷形態 = T F C C 損傷？



誤診による治療もある



文献調査より私見を述べる

目的

診断率は報告がない



判別テスト・所見を整理



診断率の向上を目的

方法

文献より調査

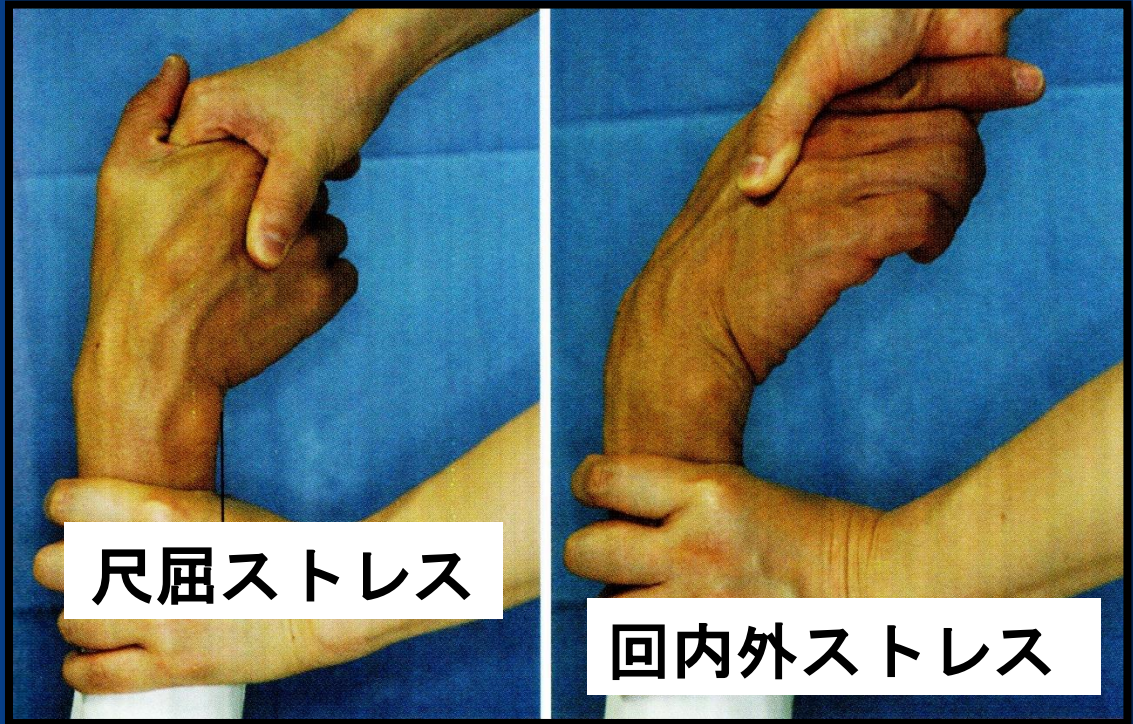
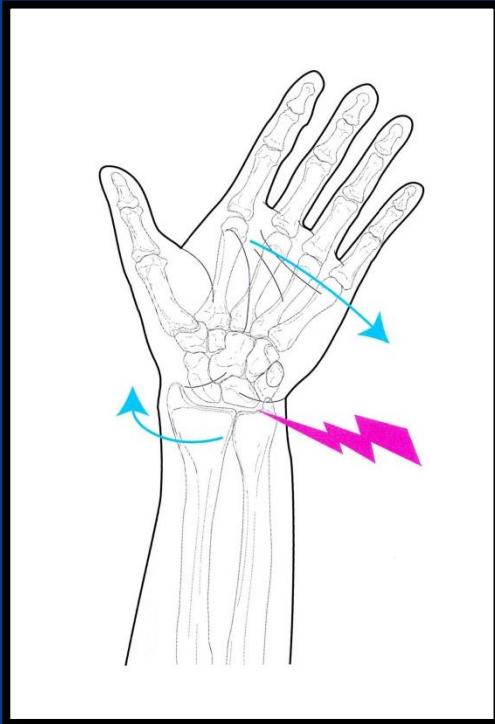
テスト法・誤診パターン

結果

～ T F C C 損傷を中心に述べる～

ulnocarpal stress test

代表的TFCC損傷のテスト法

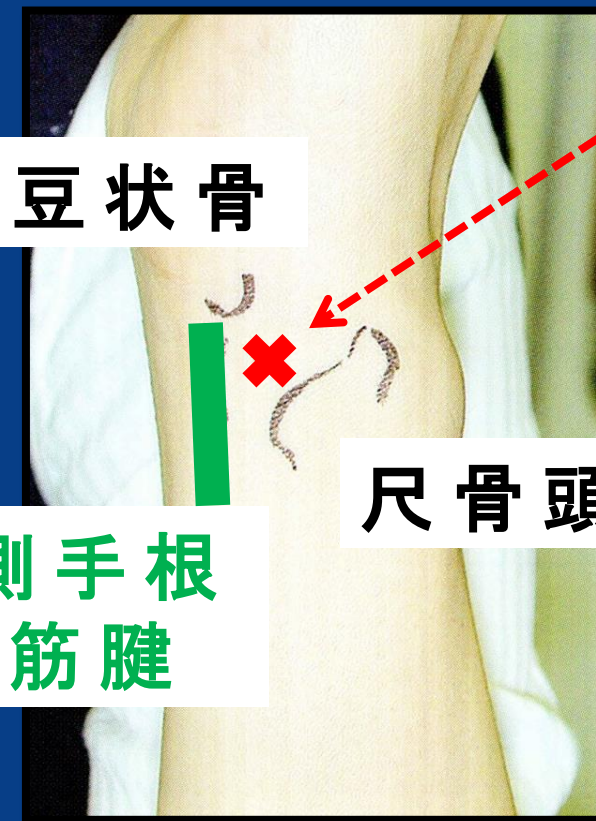


偽陽性となる代表的他疾患：尺骨突き上げ症候群

T F C C 損傷のテスト法

u l n a r f o v e a s i g n (t e s t)

左尺側



豆状骨

尺骨頭

尺側手根
屈筋腱

フォーヴィア
f o v e a

偽陽性となる代表的他疾患

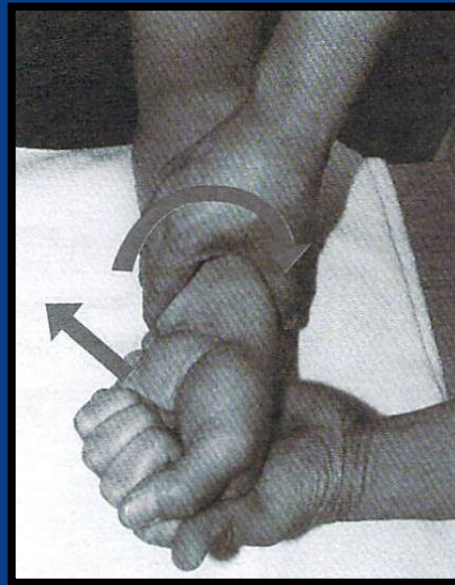
尺側手根屈筋腱炎・尺骨突き上げ・R A 初期

その他のTFCC損傷のテスト法

press テスト grasp・回外・尺屈テスト Shake hand テスト



手をついた際の疼痛



grasp(握る)要素にて(+)

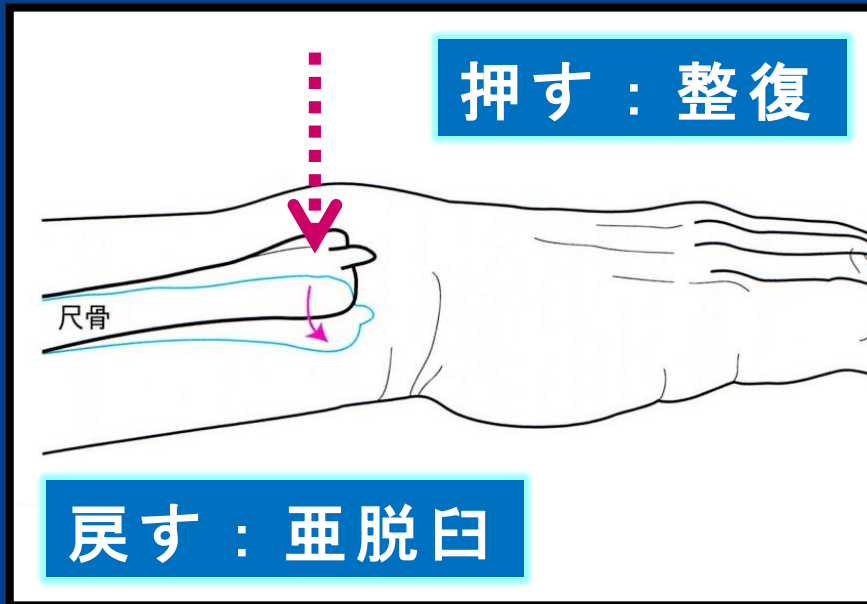


インピンジ増強：より鋭敏

T F C C 損傷のテスト法

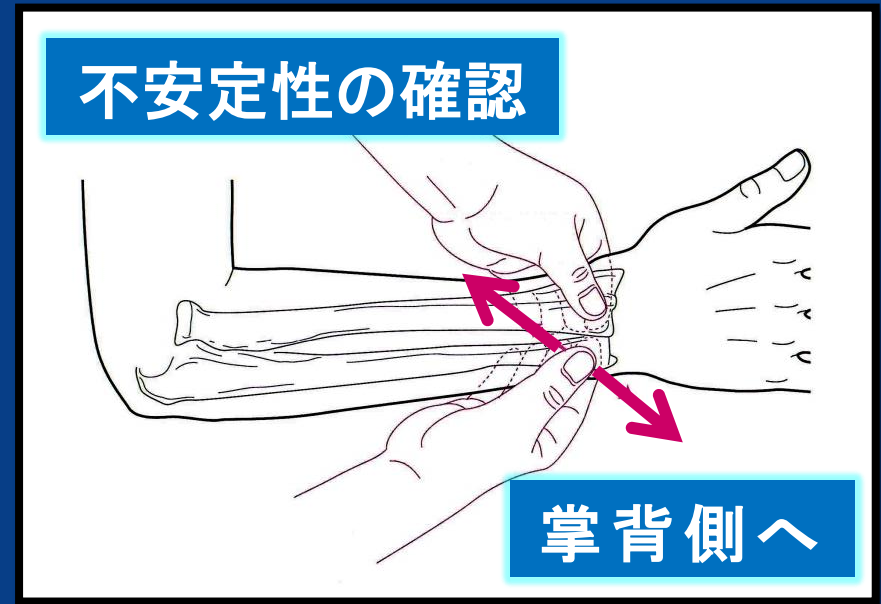
DRUJ (遠位橈尺関節) 不安定性テスト

Piano key sign



前腕回内位・左右差

DRUJ ballottement test



前腕中間/回内/回外

T F C C 損傷のテスト法

DRUJ (遠位橈尺関節) 不安定性の自覚症状

- ① slack (抜けるような感じ)
- ② 不安定感
- ③ click
- ④ 固有の圧痛点など (背側)
- ⑤ 轆音

～ T F C C 損傷による症状～

T F C C 損傷：診断の参考事項

① 前腕の回内外について

回外時痛＝T F C C 損傷・尺骨突き上げ症候群
回内で尺骨が背側へ亜脱臼＝D R U J 不安定症
(T F C C 損傷による事かを判断)

② 腫脹

生じることはい少ない・外見上は異常がない

③ 患者表現

なんともいえない嫌な・耐えられない・奥の方からの・物を持ったときに力が入らない

④ ulnar fovea 以外の圧痛点

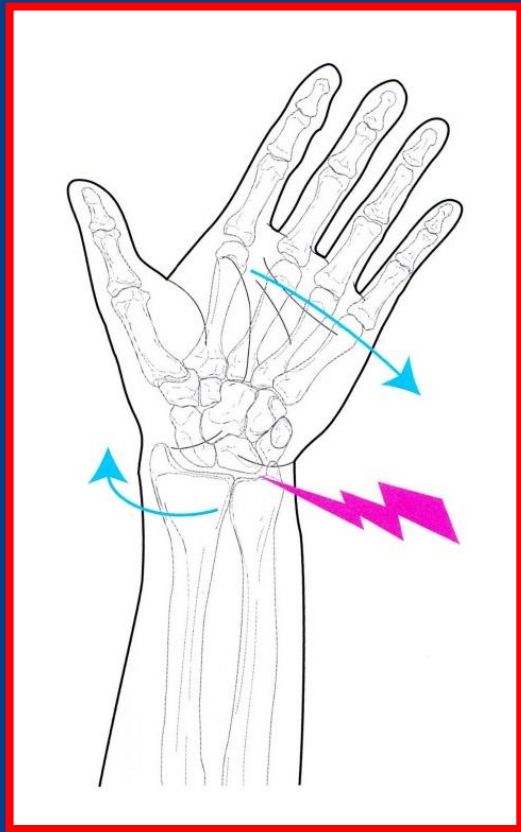
手関節背側の固有圧痛点・D R U J 腔

⑤ その他

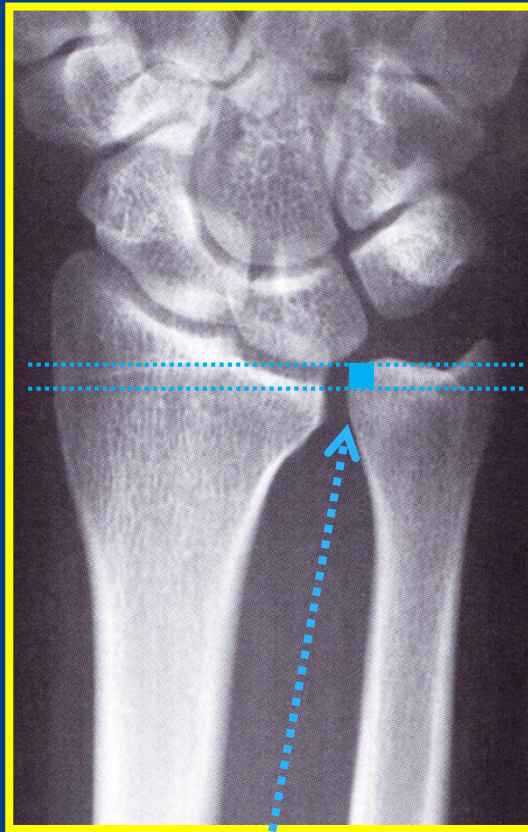
外傷後の頑固な手関節尺側の痛みと圧痛

誤診パターン＝尺骨突き上げ症候群（一般的な） そのテスト法と診断が出来ない理由

ulnocarpal stress test



plus variance



neutral variance



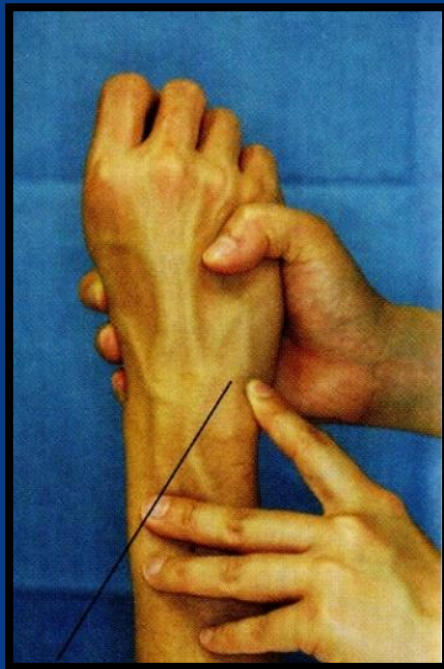
突き上げを強くする
公益社団法人山形県柔道整復師会

尺骨相対長が長い

正常

誤診パターン＝月状骨三角骨靭帯損傷 月状骨(L)・三角骨(T)靭帯損傷テスト

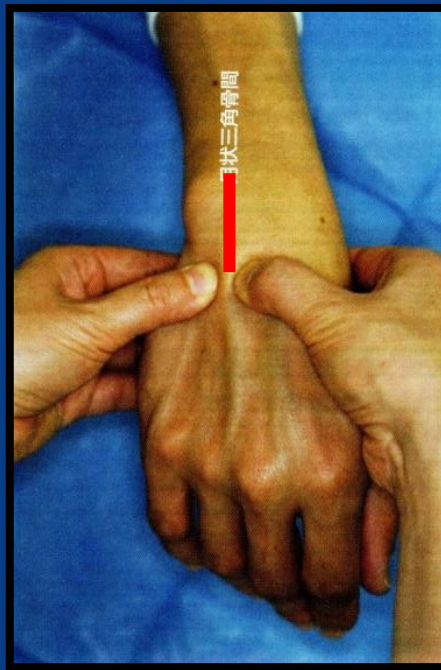
ulnar snuff box



foveaと数ミリの
の違い

公益社団法人山形県柔道整復師会

L T ballottement



三角・月状骨間にストレス
赤線部

L T squeeze



L T compression は
尺側からのみ圧迫

誤診パターン＝尺側手根伸筋腱炎 尺側手根伸筋腱（ECU）炎テスト



合掌/回外(麻生)テスト



繰り返す



ECU synergy test



ECU 腱のみ負荷
感度が高い

Carpal supination test



他のテストより
腱鞘内圧が上昇

結果：TFCC損傷と鑑別困難な疾患

診断テスト法より

尺骨突き上げ症候群
尺側手根屈筋腱炎
DRUJ不安定症
(関節症)

誤診パターンより

尺骨突き上げ症候群
尺側手根伸筋腱炎
月状・三角骨靭帯損傷etc.

徒手検査のみではこれらは診断が困難

～多くは支障のないレベルに治癒～

ご清聴、感謝申し上げます